

## オンラインなどのインターネットの 接続料を支払った場合は？



慣れないうちは取引があったとき、どんな勘定科目で処理すればよいのか、悩むケースもあるでしょう。そうした勘定科目の取扱いについて、新人さんと一緒に、事例をもとに学んでいきましょう。

**新人さん：**オンラインでのミーティングも当たり前になってきましたね。

**先輩：**そうだね、最初は戸惑ったところもあったけれど、場所を気にしなくていいからな。

**新人さん：**交通費などのコスト削減にもなりますね。

**先輩：**うん、まさにオンライン時代の到来だね。

**新人さん：**はい。ところで、オンラインの費用は何の科目で処理するんですか？

### ●解説

「通信費」とは、社内や取引先との連絡をとる場合などに使う電話やファクシミリの通信料金、ハガキや切手の代金、インターネット接続料などの通信手段のために支出した費用を処理する勘定科目です。

社内便なども通信手段ですので、一般的には通信費で処理します。

電子マネー機能のあるスマートフォンを使用している場合は、すべてを通信費とせず、その利用内容に応じて消耗品や旅費交通費などの勘定科目を使います。

ハガキや切手の代金は、購入した際に通信費で処理しますが、期末に未使用のものがある場合は、貯蔵品に振り替えます。

ただし、金額が少なく1年以内に消費されるものであれば、通信費のまま処理しておいても構いません。

広告のためにダイレクトメールを発送した場合の郵便料金は、通信費として処理しても問題はありませんが、支出の目的から勘案して、広告宣伝費で処理したほうが妥当です。



### ケース1 インターネットの回線使用料が口座から引き落とされた場合

インターネットの回線使用料4,400円（税込）が普通預金口座から引き落とされた。

<b>【借方】</b>	通信費	4,000	／	<b>【貸方】</b>	普通預金	4,400
	仮払消費税等	400				

### ケース2 切手を購入し、未使用の切手がある場合

・購入時：切手11,000円（税込）を現金で購入した。

<b>【借方】</b>	通信費	10,000	／	<b>【貸方】</b>	現金	11,000
	仮払消費税等	1,000				

・決算時：上記の切手のうち5,500円分が未使用であった。

<b>【借方】</b>	貯蔵品	5,500	／	<b>【貸方】</b>	通信費	5,000
					仮払消費税等	500